

ところざわ

市議会だより

No.209
今回の定例会は

12月

3月

9月

6月

Tokorozawa city council



J-POPボーカルグループ & 所沢市観光大使

JAY'S GARDEN



12月定例会での 議案審議

【会期】	12月1日～12月21日（21日間）	
【市長提出議案】	補正予算	10件
	条例関係	5件
	契約変更	1件
	協議	2件
	市道認定	1件
	人事関係	6件
	決算の認定	10件
【請願】		4件
【議員提出議案】		6件



12月定例会のまとめ

12月定例会では、令和5年度補正予算や条例などの市長提出議案25件、決算の認定10件及び請願4件を審議しました。また、通年会期制の導入に伴う議案を含む議員提出議案6件を可決しました。



詳細はコチラ

市長提出議案のおもな事業概要



議案第119号 令和5年度所沢市一般会計補正予算（第6号）
議案第128号 所沢市市長の給料の特例に関する条例制定について

市長が給料月額額の30%を減額します

（問合せ：職員課 2998-9048）

概要

市長の給料月額を、令和6年1月1日より任期の末日（令和9年10月29日）までの期間、現行の給料月額から30%減額します。

現行 1,029,000円 / 月 ▶ 減額後 **720,300円** / 月（▲308,700円）

本会議での議案質疑

問 減額割合を3割とした根拠を市長に伺いたい。

答 10月22日に執行されました所沢市長選挙に当たりまして、様々な公約を掲げて市民の皆様からご信任をいただいたところです。そして、厳しい財政状況の中で公約の実現を図らなければならないわけですので、身を切る思いで臨むという決意を表すという意味で3割削減を表明し、自らの決意を形にしたものです。

問 今回の削減で小野塚市長の任期中の削減額はいくらになる予定か。

答 任期4年間での減額の影響額は、期末手当を含めて2,003万4,630円です。



議案第119号 令和5年度所沢市一般会計補正予算(第6号)

子育て世帯の負担を減らします

小中学校給食費保護者負担軽減事業

事業費：2億6,766万3千円

(問合せ：保健給食課 2998-9249)

エネルギーや食料品等の物価高騰の影響を受けやすい子育て世帯の負担軽減を図るため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、学校給食費の保護者負担分を3か月無償にします。

対象：市立小中学校に児童生徒が在籍している世帯

期間：令和6年1月から3月まで

補助額：	小学校	1億7,364万4,950円
	中学校	9,327万3,120円
	保護者※	45万1,220円
	合計	2億6,736万9,290円



※アレルギー等で弁当を持参する児童生徒がいる世帯には、保護者口座に給食費相当額を振り込みます。

実施概要

問 食材費の高騰により、メニューへの影響を心配しているが、食材費の見積りにどのような影響が出てきているのか。

答 食材費が高騰している中でも、栄養教諭と栄養士がメニューをいろいろ考えて、質が落ちないように提供しています。



議案第132号

所沢市立学校設置条例の一部を改正する 条例制定について

(問合せ：学校教育課 2998-9238)

所沢市立所沢第二幼稚園を令和7年3月31日をもって廃園することに伴い、所要の改正を行うほか、関係条例の廃止等を行います。

これまでの歴史

市立の幼稚園は、私立幼稚園の補完的な役割を果たすために、昭和47年に所沢幼稚園(岩岡町)、昭和48年に所沢第二幼稚園(荒幡)を開園しました。

平成16年に所沢市立幼稚園運営協議会に「所沢市立幼稚園の今後の在り方」について諮問し、平成21年に「2園を廃園することが望ましい」との答申を受けて、平成23年に所沢幼稚園を廃園し、所沢第二幼稚園の廃園時期を見定めてきました。

廃園を検討した理由

- 1 園児数の減少
- 2 園児数減少による影響
- 3 市の財政負担
- 4 周辺幼稚園の整備が進んだことで幼稚園不足が解消



問 地域の方から跡地にどのようなものを作ってほしいといった声が出ているのか。

答 防災の拠点となる場所や、放課後にお子さんたちが遊びに来ることができる場所などにしてほしいといった意見をいただきました。

政治倫理審査会審査結果（概要）

◇審査請求の対象となる議員の氏名 大庭 祥照

審査会の詳細は
コチラ →

◇審査請求の対象となる事由の該当条項と内容

【該当条項】所沢市議会議員政治倫理条例第5条第1号

対象議員が代表取締役を務める会社が、地域の祭り等で行った寄附行為について、公職選挙法第199条の3及び同法第199条の4に違反するものであることから、政治倫理条例に定める「市民全体の代表者として、品位と名誉を保ち、議会に対する市民の信頼を損なわないこと」という遵守すべき行為規範に反する行為に該当するため。

◇審査の経過

審査会を計3回開催し、対象議員への事情聴取等の調査を行い、議長に審査結果報告書を提出しました。

◇審査結果

政治倫理条例第5条第1号に違反する行為があったものと認定

【審査会の意見】

対象議員の違反行為により、議会に対する市民の信頼が損なわれた。その信頼を回復するため、対象議員に対しさらなる反省を求めるなど、何らかの措置が講じられるべきであるが、その措置の具体的な内容については、市民から選ばれた議員自らが議会として判断するべきであること。

議員研修等をより充実したものとするなど、議会全体として、公職選挙法等の法令の理解を深め、再発防止に努めること。

寄附を受ける側の市民や民間事業者、団体等に対しても、公職選挙法上違法となる寄附行為についての理解を深めていただけるよう、議会として積極的な周知・啓発活動を行うこと。

議員提出議案

議員提出議案第8号



大庭祥照議員に対する議員辞職勧告決議

所沢市議会は、所沢市議会議員政治倫理条例（以下「条例」という。）第2条において、議員は市民全体の代表者として、自らの役割を深く認識し、その使命の達成に努めなければならないとし、条例第4条第1号において寄附等に係る申し合わせ事項を定めている。

所沢市議会議員である大庭祥照氏本人が代表取締役を務める会社が、地域の祭り等において寄附を行っていることが発覚し、これを受け、本市議会は、令和5年9月定例会において、大庭議員に対する反省を求める決議を原案可決した。

さらに、議員6名から条例第6条第1項の規定による審査の請求があり、所沢市議会政治倫理審査会を設置し、審査を行った結果、刑事事件に係る行為又は不正の疑惑を持たれるおそれがある行為があったとして条例第5条の行為規範に反すると結論づけた。

大庭議員の行為は、議会に対する市民の信頼を著しく失墜させるばかりでなく、本市議会の名誉と品位を傷つけたことは議員としてあるまじき行為と言わざるを得ない。

また、審査会における弁明や事情聴取の際の大庭議員の言動は、反省のかけらも感じられず、先の決議の趣旨を大きく踏みにじるものであった。

よって、当該議員は、公職である市議会議員としての政治的、道義的責任を免れず、議員職に留まることは、市民感情からして許されるものではなく、事態の重大さを真摯に受け止め、自らの意思により直ちにその職を辞することを勧告する。

▶通年会期制の導入に伴う議案を可決

平成24年の地方自治法の一部改正において、これまでの定例会・臨時会を開催することなく、会期を1年として、予見可能性のある形で定期的に会議を開く議会運営を行うことを議会が選択できることが制度化された。地方自治法の改正以降、本市議会においても、通年会期制の導入に関する協議が行われ、令和元年11月の議会運営委員会で、議会がイニシアチブをとって判断していくという意味において、しかるべきときに通年会期制に移行していくことが全会一致で確認された。それ以降継続的な協議を行い、協議が整ったため、関連する例規の提案に至ったものである。

議員提出議案第9号

所沢市議会の会期等に関する条例制定について

議員提出議案第10号

所沢市議会会議規則の一部を改正する規則制定について

議員提出議案第11号

市長の専決処分事項の指定について

議員提出議案の
詳細はコチラ➡



議員提出議案第12号

消防団に対する国として支援の充実の検討を求める意見書について

消防団は、消防本部や各地にある消防署と同様、消防組織法に基づき市町村に設置されている消防機関である。地域における消防防災のリーダーとして平常時・非常時を問わず地域に密着し、住民の安全・安心に大きく寄与している。日本消防協会の調査では全国で平成25年には871,730人いた団員数は、令和5年には764,958人と、この10年間で人数にして106,772人(12.2%)減少した。このままでは地域の安全・安心を保つことにも支障を来しかねないことを危惧する。

よって、政府に対しては消防団に対して財政面をはじめとした支援の充実の検討を求める。

議員提出議案第13号

入沢豊議員に対し謝罪と反省を求める決議



所沢市議会議員政治倫理条例第5条(行為規範)第1号には、議員が遵守しなければならない事項として「市民全体の代表者として、品位と名誉を保ち、議会に対する信頼を損なわないこと」との定めがあるところ、この度、入沢豊議員が下記のような行為を行ったことが確認された。

記

1. 令和2年2月、プライベートの目的で韓国に渡航した際、議員に義務付けられている渡航届の提出を怠ったこと。
2. 令和5年6月定例会閉会后、自身のフェイスブック等において事実とは異なる内容も含め、これまでの議会運営や議会改革に対して批判的な投稿を繰り返し行ったこと。
3. 令和5年10月6日、所沢まちづくりセンターにおいて執り行われた所沢市戦没者追悼式の開式直前、島田一隆議長に執拗につきまとうた上で恐喝ともとれるような発言を繰り返し、精神的苦痛を与えたこと。

これらの行為は市民全体の代表者である議員として相応しくない行為であり、議会に対する信頼を著しく損なうものである。

よって、入沢豊議員に対し、市民からの信頼を失墜させる自らの行為について真摯に謝罪と反省をするよう強く求めるものである。

【討論】市長提出議案に賛成・反対

反対

議案第130号 所沢市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び所沢市常勤の特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について

労務関係にない議員は人事院勧告に縛られるべきものではなく、地方議会議員は自ら条例によって期末手当等の改定が可能であることから、論理必然的に人事院勧告が期末手当の増額の根拠とはなり得ない。実質賃金の上昇と、さらなる行財政改革を推進し、市民生活を改善・向上させていくことが最優先である。



神戸議員

反対

議案第119号 令和5年度所沢市一般会計補正予算（第6号）住民記録システム等改修事業（住民票等への振り仮名記載対応）

今回のシステム改修は、住民票や戸籍の附票への氏名等の振り仮名を記載し、3年後にはマイナンバーカードへの振り仮名・ローマ字表記を実施するためのものである。マイナンバー制度はプライバシーの侵害のリスクが避けられないため、制度拡大につながる、今回のシステム変更は認められない。



中井議員

反対

議案第131号 所沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

今回の賦課限度額の引き上げは、加入する低所得者への配慮をしているが、その分、中・高所得者の負担が重くなっており、加入している4万8,883世帯中1,125世帯が増額の影響を受けてしまう。

賛成

議案第128号 所沢市市長の給料の特例に関する条例制定について

市長職は極めて重要な役職であり、その職務には高い責任が伴う。報酬の削減が、市長のモチベーション低下を招く可能性が懸念され、本議案は4年間に限定されているものの、市長職の報酬削減が今後、有能な候補者が市長に立候補する意思を削ぐ可能性があることも、考慮しなければならない。しかしながら、本議案は小野塚市長が「所沢を日本一のまちにする」という強い決意を表明したものであり、1つでも多くの事業を実現させたいという市長の情熱と献身を尊重したいと考える。



長谷川議員

反対

議案第128号 所沢市市長の給料の特例に関する条例制定について

市長選挙の公約どおりの議案が提出されているが、市長1人が給料の30%を減額したことで生み出された財政によるプラスの影響を市民34万人が感じられるだろうか。市民も新市長に多大な期待を寄せているので、市民のためにより多くの事を積極的にやっていただくほうが良策だと考える。市長には取るものをしっかりとって頂き、市民の期待に十分に答えていただきたい。



斉藤議員

反対

議案第131号 所沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

賦課限度額は、課税所得の上限があるため、賦課限度額の引き上げは一定以上の金額になると逆進性が発生している。負担増を毎年のように求めるのならば、国民健康保険運営協議会のメンバーに、負担増になる方や国民健康保険制度に精通している方に入っていたくことを検討するべきである。この10年で加入者数が大きく減少し、制度そのものの維持が危ぶまれているが、国では一向に制度の見直しがされない。今回は国に対して一言申し上げたいの思いから、反対する。



末吉議員

令和5年12月定例会 審議結果

市長提出議案（25件）

■賛否の分かれた議案等 ■については、議員別賛否一覧をご覧ください。

徹底
審議

議案番号	議案件名	付託委員会	結果	
議案第119号	令和5年度所沢市一般会計補正予算（第6号）	予 算	原案可決	
議案第120号	令和5年度所沢市交通災害共済特別会計補正予算（第1号）			
議案第121号	令和5年度所沢市所沢都市計画事業狭山ヶ丘土地区画整理特別会計補正予算（第2号）			
議案第122号	令和5年度所沢市所沢都市計画事業所沢駅西口土地区画整理特別会計補正予算（第2号）			
議案第123号	令和5年度所沢市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）			
議案第124号	令和5年度所沢市介護保険特別会計補正予算（第2号）			
議案第125号	令和5年度所沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）			
議案第126号	令和5年度所沢市水道事業会計補正予算（第1号）			
議案第127号	令和5年度所沢市下水道事業会計補正予算（第1号）			
議案第128号	所沢市市長の給料の特例に関する条例制定について			
議案第129号	所沢市一般職の任期付職員の採用等に関する条例及び所沢市一般職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について			総務経済
議案第130号	所沢市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び所沢市常勤の特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について			健康福祉
議案第131号	所沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	市民文教		
議案第132号	所沢市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について			

12月定例会での

一般質問



議員が自身の政策提案も含めて、市に対して考えを聞くのが一般質問です。皆さんの生活にかかわる内容がぎっぴとあります。

※各議員の1項目をダイジェスト版でお知らせします。すべての質問項目および動画は、市議会ホームページで公開しています。



↑ 動画はコチラ

市民医療センターの敷地内に保健所の設置を



至誠自民クラブ 大石 健一

Q 保健所を設置する場所は、市民医療センターの再整備とともに考えるべきだと、これまで発言してきました。市民医療センター再整備基本計画には、前市長の考えで、保健所の設置は記載されていないが、市長が変わったことで、方針変更も可能ではないか。同一敷地内にある所沢准看護学院の在り方や、隣接する南山公園との一体化を再検討すれば、この場所に保健所を設置することも可能だと

考えるが、市長の見解を伺う。
A 中核市移行の総合的な調査・準備を行うために中核市移行準備プロジェクトチームを組織した。その役割として、移譲される権限や課題を整理し、その解決策を検討することとしており、その課題の一つとして、保健所の設置場所も入っている。提案の内容も含めて、プロジェクトチームで検討していくものと考えている。

期日前投票所の増設を



至誠自民クラブ 大館 隆行

Q あらかじめ予定が決まっている選挙とは違い、衆議院議員選挙のように突然決まる選挙では、予算や関連機器の確保の問題があり、準備が間に合わない場合があると思うが、何か所ぐらい期日前投票所の増設が可能なのか。

事務費のほか、パソコン等の購入や二重投票防止のため、期日前投票所と選挙管理委員会をセキュリティ回線で接続するための敷設費用が見込まれる。また、投票管理者や投票立会人、事務従事者がより多く必要となるため、応援体制の整備・強化が必要となる。これらの様々な課題があり、現時点では、期日前投票所の増設の具体的な試算には至っていない。

国民健康保険の未来 値上げを許しているのか



ところざわ市議会 未吉美帆子

Q 国民健康保険は共助でも公助でもなく、社会保障制度であり、この国で最も困難な方が加入する医療保険である。このまま値上げを許していいのか、全体で考えていくべきだと考えるが、見解を伺う。
A 昨今の物価上昇なども相まって、大変厳しい状況にあることは十分承知している。しかしながら、高齢化や医療の高度化に伴う一人当たりの医療費は上昇の一途をたどり、全国的にも

国民健康保険財政は非常に厳しいと言わざるを得ず、制度を安定的・継続的に運営していくためには、被保険者の方にも一定の負担をお願いせざるを得ない状況である。今後、国民皆保険制度の最後のとりでとして、持続可能で安定的な国民健康保険の運営を図るよう努めていくとともに、被保険者の方が制度への理解をより深めていただけるよう、様々な機会を捉えて周知に努めていく。

「2025年問題」に向けて 介護難民対策を



れいわ新選組 赤川

Q 団塊の世代が全て後期高齢者となる「2025年問題」まで、あと一年余りに近づいている。要介護や要支援の認定後に、介護サービスを受けられないなどの問題が発生することはないので、介護難民対策として、どのようなことが考えられるか伺う。
A 本市では現在のところ、認定を受けていても必要な介護サービスを受けられない、いわゆる介護難民

という問題は発生していないものと認識している。今後、高齢者人口が増加していく中、そういった状況に至ることがないよう、現在も実施している様々な介護予防事業をはじめ、介護人材の確保の取組や介護施設の計画的な整備など、様々な施策を並行的に進めることで、介護保険制度の安定的な運営に努めていきたいと考えている。

市長公約の実現に向け
独自の歳入確保策を



民主党・会
所属の
伊野 允彦

Q 市長は選挙で数多くの無償化政策の実現を訴えていたが、これだけ多くの無償化政策を実現するには、財源をどうするのか。市は株式会社ワルツ所沢の最大株主であるため、保有している株を全て売却し、財源に充てることも選択肢とするべきであると考えが。

負っている使命を果たして現在に至っている。所沢駅周辺では、令和6年に大型商業施設がオープンし、ますますのにぎわいが想定され、ワルツビルはこのエリアの中核を担うべき存在だと考えている。今後もワルツビルの持続的な繁栄を図り、関係者の思いに応えるために、市は株式会社ワルツ所沢の株主として関与することが適当であり、株式の売却は考えていない。

ごみ袋有料化議論の凍結を



民主党・会
所属の
石原 昂

Q 廃棄物減量等推進審議会より、ごみ有料化制度を推進していくべきとの答申を受けてからも、これまでごみ有料化は決定事項ではない旨の答弁が続いてきた。家計の負担に直結するごみ袋有料化は、環境への理解の醸成や実社会にもなじまないと考え。市長は選挙の際に、環境政策としてごみ有料化に反対の考えを表明していたが、今日の社会情勢や市民に不安が広がることへの影響を踏まえ、ごみ袋有料化の議論を凍結・廃止

すると明言されてはどうか、市長の見解を伺う。

A 私は既にごみ有料化は、反対の考えだと言っている。ただし、廃棄物減量等推進審議会でのごみの減量の議論では、様々な視点から自由に議論がされるべきだとは考えている。その上で、ごみ減量化施策については、あらゆる可能性を排除せずに調査・研究を継続していくことが、自治体としての役割だと認識している。

不登校児童生徒に
しっかりと寄り添う支援を



党
所属の
植村 成年

Q 不登校となる要因は様々であり、生活困窮などの家庭環境や学力の格差、いじめなどの人間関係、病によるものなどが背景にあると考える。不登校となる児童生徒の実情をどのように認識し、不登校が増加傾向にある本市での支援をどのように考えるのか、市長の見解を伺う。

施策を重点に掲げているが、不登校の児童生徒やその保護者に対して、心情に寄り添いながら相談に乗ることが大切だと考えている。また、不登校にならない環境づくりは大変重要だと考えており、今後は、教育委員会と関係各課、関係団体との連携を一層図り、全ての児童生徒が学校や地域で安心して楽しく過ごせる環境をつくっていきたいと考えている。

山口まちづくりセンターの
第二駐車場の存続を



民主党・会
所属の
入沢 豊

Q 山口まちづくりセンターの第二駐車場が、今後借りることができない可能性があるというところで、利用する地域住民の利便性が極度に悪くなる。第二駐車場の隣には民間の駐車場があり、そこも含めて借りるか、あるいは購入するなど、市として様々な手だてを考えてもらえないか伺う。

新をお願いしたところ、諸事情により、これまでどおりの契約は難しいとの申し出があった。引き続き交渉をした結果、令和6年3月まで更新することができたが、その後については現在も交渉を続けている。引き続き、第二駐車場を借りる方向で、地権者と協議していきたい。第二駐車場の拡張については、今後、利用頻度や費用対効果なども含め、慎重に判断していく。

A 第二駐車場の契約期間が令和5年7月末で満了となるため、地権者に契約更

まちづくりセンターの
公民館機能の継続を



党
所属の
花岡 健太

Q まちづくりセンターには、公民館の社会教育の場としての機能を守り、引き続きその役割を担ってほしいと考えるが、市民の生涯教育の拠点として公民館を残していく気持ちがあるか、市長の見解を伺う。

習活動の拠点としても位置づけられている。先日開催された説明会に出席された方から、公民館機能が教育委員会から市長部局に移管されても、学ぶこと、まちづくりの相乗効果によって、今以上に公民館が地域づくりに貢献できるようになればよいとの意見があったと同様。まちづくりセンターの機能をさらに高めて、引き続き、市民が主役の地域づくりを推進していきたいと考えている。

スピード感ある政策の実現を



ところざわ
市民会
議
石本 亮三

Q 市長は修学旅行の無料化を政策として掲げているが、林間学校も無料化していくのか。70歳以上の方のところワゴンやところバスの無料化は、国に申請して料金改定をしなければならぬが、修学旅行の無料化は財源の問題だけである。

今定例会で繰越金の補正予算が提出されたが、来年度への繰越金は約100億円であり、財政調整基金を取り崩せば、令和6年度か

ら修学旅行の無料化を実施できると考えるが、市長の見解を伺う。

A 私の公約として、まずやるべきこととしては、小中学校の給食費の無料化を上げている。修学旅行の無料化を含めたそれ以外の事業については、公約の進捗や市の財政状況などを踏まえながら検討していく。なお、林間学校の無料化については、現在のところ考えていない。

気軽に利用できる
夢の公共交通を目指して



市民クラブ
未来
中 毅志

Q 市長の公約には、70歳以上の方のところバス、ところワゴンの無料化が掲げられている。現在、利用者が増加傾向にあるところワゴンだが、今後、地域の公共交通として、様々な事業展開を行っていくのか、市長の見解を伺う。

A 令和3年4月に実証運行として開始した三ヶ島地区ところワゴンだが、利用者が年々増加しており、地域の移動手段として定着したものと考えている。実証運行が終了する令和6年4月以降もところワゴンを行い、地域住民や三ヶ島地区を訪れる方の移動手段として活用してもらいたいと考えている。公共交通の今後の事業展開だが、公約に掲げた、70歳以上の方のところバス、ところワゴンの無料化をはじめ、誰もが気軽にかけられ、笑顔で生き生きと生活できるように、公共交通を充実させていきたいと考えている。

視覚障がい者用
誘導ブロックの整備を



公明党
川辺 浩直

Q 新所沢東地域には、市民体育館や所沢北高校など、多くの人が行き交う施設があるが、令和5年11月に、所沢美原総合病院が開設し、人の通行がさらに増えることが予想される。駅から国立障害者リハビリテーションセンターまでは、視覚障がい者用の通路や誘導ブロックが整備されているので、誘導ブロックを市民体育館と所沢美原総合病院まで延長することはできないか、見解を伺う。

A 国立障害者リハビリテーションセンターまでは視覚障害者用の誘導ブロックが整備されている。市民体育館はゴールボールのナショナルトレーニングセンターになっており、所沢美原総合病院についても救急病院としての機能を有していることから、視覚障害者用の誘導ブロックの早期の整備に向けて、現地を調査した上で検討していく。

災害時を考慮した小中学校
体育館への空調設備の整備を



至誠
秋田 孝

Q 川越市では小中学校全54校の体育館の空調設備の熱源を、停電時でも稼働できるLPガスにした。本市は11行政区あるので、最低でも各行政区に一つはLPガスを使用した避難所が必要である。市長も選挙公報に、市内全小中学校の体育館にエアコン設置、子どもたちが快適に学べる環境を整備するだけでなく、地域の方にも利用しやすくする

A 近年の記録的な猛暑を受け、児童生徒の学習環境の向上に加え、災害時の避難所としての機能を考慮したエアコン設置を進めるため、教育委員会と協議し、検討していきたい。

老人福祉センター・老人憩の家
入浴施設の再開を



公明党
山口 美咲

Q 老人福祉センターや老人憩の家の入浴施設は、現在も利用中止となっている。また、弘法の湯（金山町）の廃業に伴い、公衆浴場老人入浴料助成事業も令和5年12月末をもって終了となる。一人で暮らす高齢者の入浴は経済的にも様々な面で負担があり、入浴施設の再開を待つ方が数多くいる。日々稼働している施設で、市民が求めているのは、高齢者の健康維持に努めていく。

A 老人福祉センター、老人憩の家は、高齢の方が安全に安心して施設を利用してもらえることが最も重要だと考えており、感染症のリスクを考慮し、入浴施設の再開を見送らせていただいている。多くの方に利用していただけるよう、引き続き、魅力的な施設の運営に努めていく。

ゲリラ豪雨対策
防災に強いまちの実現を



立憲
長岡 主恵子

Q 清流かわせみ橋（下安松）は高低差があり、大雨になると、清流苑方面（市道1-973号線から市道1-892号線）に雨水が流れていき、雨水が排水されず、道路一帯が大きな水たまりになり、付近の私有地に雨水が流れ込み、水浸しになって困っているとの声が寄せられた。対応策を検討してもらえないか、見解を伺う。

A 道路一帯が大きな水たまりになった箇所には、浸透雨水枿を設置しているが、台風やゲリラ豪雨など一定規模以上の大雨の際は、雨水の流入に対し、地下に浸透する容量を超えてしまい、道路冠水が生じているものと思われる。今後は必要に応じて浸透雨水枿の清掃を行うとともに、清流かわせみ橋の北側の道路からの雨水の流入についても、道路の高さや雨水の流れを調査し、雨水の流入抑制ができるかどうかの検討を行っていききたい。

東所沢駅前通りの
歩道の整備を



市民クラブ
本 明信

Q 開智所沢小学校と開智所沢中等教育学校が令和6年4月に開校する。初年度の生徒数は540名だが、最終的には職員を含めて3,200名になると言われている。地元の市民からは、朝夕の東所沢駅前通りの歩道の混雑が予想され、通勤通学への影響がかなり懸念の声も出ている。歩道が未整備となっている東所沢公園入口信号から開智学園までの約650mの

A 東所沢公園入口信号から開智学園までの歩道の整備については、令和6年4月の開智学園の開校に伴い、児童生徒などの通学時の駅前の歩道の通行者の増加が予想される。今後は、歩道の利用状況を確認し、歩道空間の確保などの検討を行っていききたいと考えている。

中核市移行に伴う
あらゆる変化に適切な対応を



日本共産党
神戸 鉄郎

Q 市長は、選挙公約どおり中核市移行に関して進めることを表明した。中核市になることで、県の権限の一部を市が担うことになるが、業務がどの程度増え、新規に採用する人材はどの程度必要になるのか伺う。

A 難病対策、飲食店の営業許可や監視指導などを行う。保健所以外の主なものとしては、廃棄物処理施設の許可、教職員の研修などが挙げられる。中核市としての事務を適切に処理していくためには、専門職の人材確保も含め人員を配置することが必要だと考えている。中核市に移行した同規模の他市の事例では、職員を85名程度増員したと伺っている。

公約実現のための
財源確保の公表を



自由民主党
前田 浩昭

Q 市長は、子育て5つの無料化政策を公約に掲げているが、無料化に係る予算額と財源は。また、これらの無料化政策を実施することで、将来にわたり子どもたちに負債が残ることはないのか、市長に見解を伺う。

A 18歳までの医療費完全無料化は、対象年齢の拡大部分で年間約2億円、小中学校の給食費無料化は、年間約13億円の費用を見込んでいる。その他の3つの事業については、今後さらに検討を進める必要があることから、現時点では具体的な数字を答えることはできない。財源は、国庫補助金などの特定財源を見込めないことから、一般財源による措置を考えている。事業の財源は市債(借金)を財源とすることができないため、当該年度の歳入を財源として実施する。しかし、借金はしないものの、各年度の財源にも限りがあるため、事業の取捨選択は、将来にわたり子どもたちに影響の出ることがないように調整を図っていききたい。

所沢上空での
米軍航空機の飛行中止を



日本共産党
矢野 勉

Q 米軍横田基地所属のC-22オスプレイが、令和5年11月に鹿児島県屋久島沖で墜落した。オスプレイは開発段階から墜落事故が相次ぎ、多くの乗組員が死亡しており、報道では、63人の死亡のうち、戦闘による死者は一人もなく、全て墜落事故によるものとのことである。オスプレイの市内上空での飛行中止を固に求めてもらいたいと考えますが、市長の見解を伺う。

A 基地対策協議会を通じて、オスプレイに限らず、米軍の航空機を本市に飛来させないよう既に国に要請している。今回の墜落事故については、機体そのものに問題があった可能性があると見て、現在、米軍は、世界に配備されている全てのオスプレイの飛行を停止している。今後も、米軍による調査結果の発表とそれに対する政府の対応を注視した上で、必要に応じて県や近隣市と共に考えていく。

発達障がいを抱える
未就学児を持つ家庭への支援を



日本共産党
木谷 礼奈

Q 発達障がいを抱える未就学児の保護者がフルタイムで就労できるように、市は対処する姿勢はあるか、見解を伺う。

A 障害児の療育のニーズに加え、働く保護者の長時間の預かりのニーズへの対応については、現行の制度では、児童発達支援と日中一時支援など、その他のサービスを組み合わせた利用が中心となる。国でも、障害者の家族の就労支援は日中一時支援事業の目的の一つとされているが、今後は障害福祉の制度だけでなく、様々な制度、社会資源を組み合わせながら総合的に検討されることも必要だと考えている。市としては、今後の国での議論と動向を注視しつつ、現在課題を抱える家庭に対しては、児童発達支援と日中一時支援の福祉サービスを組み合わせた利用など、子どもや家庭の状況を丁寧に向いながら、対応や調整を行っていく。

プレコンセプションケアの
推進を



自由民主党
松山 恭子

Q 愛媛県松山市では、少子化対策の一環としてプレコンセプションケアを推進している。令和5年8月より、18歳以上30歳未満の女性を対象として、3万円を上限に、卵子の数など体の状態を調べるプレコンセプション費用の助成を開始した。この検査には、健康保険が適用されないため、約2万円から4万円の費用がかかり、多くの女性が検査をためらってしまう現状もある。本市でも、プレコン

セプション費用の助成がでないか、見解を伺う。
A プレコンセプション費用の助成は、助成対象者や助成検査項目、効果的な実施方法などの研究が必要だと考える。現時点では、まずは多くの方にプレコンセプションケアの大切さを知っていただき、自身の健康、生活習慣を見つめ直していただくことが重要だと考えているので、様々な機会を捉えて周知・啓発に注力していく。

地域通貨導入の検討を



自由民主党
赤井 健二

Q 地域通貨事業の目的としては、地域内の経済循環を促すことや、地域課題の解決を図り、地域・丸となつて持続可能なまちをつくるということが挙げられる。令和5年6月定例会の一般質問では、地域通貨の導入に向けて研究している段階との答弁だったが、地域通貨の導入を公約に掲げている市長にビジョンを伺う。

A 地域通貨は、地域経済の活性化や地域課題の解決に役立つだけでなく、本市の施策や事業に幅広く活用できるものと考えている。また、DX(デジタルトランスフォーメーション)が進んだ社会では、市民参加の一形態としても、自治体の標準装備になり得るものと認識している。これまでも、庁内で検討を重ねてきた経緯があるので、活用できる取組など、導入に向けた体制づくりも含め、引き続き研究を進めていく。



市内に無料不妊手術チケットを
使用できる動物病院を



党産共 党産共
中井 中井

Q 野良猫を増やさない一番の対策は不妊手術である。市内には、さくらねこ無料不妊手術事業②の無料不妊手術チケットを使用できる動物病院がないが、その理由と市から協力要請をしているのか伺う。

A さくらねこ無料不妊手術事業は、公益財団法人どうぶつ基金が行っている事業で、本市もこれに参加している。市内に利用できない動物病院がない理由は、

この事業での手術は一般的な手術費用と比べて非常に安価であり、協力病院の善意で成り立っているところが大きく、市内の病院から登録の申請がないためである。市としても、この事業に協力していただける病院が増えることは望ましいが、こうした事情もあり、無理にお願いするのは難しいものと考えており、本市では、市外の協力病院に月2回出張手術に来てもらっている。

省エネ家電への買い替えを
促進する補助制度の導入を



男 泰 野 荻
省 省

Q 物価高騰対策と脱炭素推進を目的に、本市でも省エネ家電への買い替えを促進する補助制度の導入を検討してはどうかと考えるが、見解を伺う。

A 本市での二酸化炭素の排出量は、家庭からの排出が約30%を占めている。特に、電気の使用に伴う二酸化炭素排出量が多く、エアコンや冷蔵庫、照明器具の使用による排出が上位を占めており、脱炭素社会の実

現に向けては、家庭での省エネ性能の高い家電製品への転換は非常に有効だと考えている。また、省エネ家電への買い替えに対する補助制度は、家庭からの二酸化炭素の排出量削減につながるだけでなく、購入者の電気料金の負担軽減にもつながることから、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金などの活用も視野に入れた事業計画を検討していきたい。

県と連携して障がい者
グループホームの質の確保を



党産共 党産共
小林 小林

Q 障がい者グループホームの施設数は、第5次障害者支援計画の今年度末の目標値を既に達成しているが、施設には経験や知識のないスタッフもいるとの声が寄せられている。市として、グループホームの質を確保するための対応策を伺う。

A 本市では、自立支援協議会でグループホーム職員等連絡会議を実施しており、運営面での悩みや支援方法など、支援者が抱える課題について共有できる場

を設けている。また、グループホームに限るものではないが、相談支援事業所が施設利用者への定期的なモニタリングを行い、その情報を支援者間で共有することにより、事業者と利用者双方の実態把握に努めている。また、施設で働く職員に対し、合理的配慮、虐待予防や職場内コミュニケーションに関する研修を行うなど、技能や意識の向上に役立つ取組も行っている。

郷土愛につながる
歴史資料館の開設を



党産共 党産共
斎藤 斎藤

Q 自分の住んでいる郷土の歴史を知ることは、学習効果以外にも郷土愛につながり、地域の結びつきを強めるなど、様々な効果が期待できる。子どもたちへの教育の観点から常設の歴史資料館が必要だと考えるが、今後、歴史資料館の開設計画はあるのか伺う。

A 歴史資料館の開設計画はないが、市制施行60周年記念事業としての博物館構想がある。しかしながら、財政状況や学校施設の耐震化、教育

施設の老朽化への対策など緊急を要する課題に対応してきたため、実現には至っていない。ふるさと所沢を愛する心を育てるためにも、本市の未来を担う子どもたちが所沢の豊かな歴史文化にふれる機会を創出していきたくと考えている。郷土資料が劣化し、散逸しつつある現状であることから、これらを後世に伝えていくための施設整備は喫緊の課題だと認識しており、その実現に向けた検討を進めている。

教職員の長時間労働の是正を



自民 自民
谷口 谷口

Q 小学校の教職員の業務の中でも、授業の準備が非常に時間と手間がかかる。長時間労働を是正する観点から、小学4年生以上を対象として、教科担任制をモデル小学校で全面的に試験導入し、教職員の授業準備に要する時間を削減する取組を実施してみているかどうか、見解を伺う。

A 小学校では基本的に学級担任が授業を行うが、学校の実情に応じて、高学年を中心に学年内で連携して

担当教科を交換したり、特定の教科の担当者や専科教員を配置したりすることで、教科担任制による授業を全ての小学校で実施している。今後も、その取組の効果や課題を踏まえながら、学校の実情に応じて工夫した取組が行われていくと考える。教育委員会としても、児童生徒や教職員にとって効果的な指導体制の仕組みを研究し、学校を支援していく。

どこでも傍聴席に♪

所沢市議会では、本会議のライブ映像や過去の映像をホームページで配信しています。パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレット端末でも視聴できます。ぜひ、議会の様子をご覧ください！



市議会インターネット中継は
こちらから



所沢市議会 議会中継

検索

ギカイレポート

議会報告会

11月17日・11月18日



《報告書》



参加者からいただいたご意見

- ・環境に力を入れる協議会を作ってほしい。
- ・給食費の無料化を小野塚市長が公約に掲げていたが、物価高の世の中なので質を落とさないように気をつけてほしい。
- ・保育士の資格を持っているが保育士として働いていない方がいるので、労働条件を見直して働きやすくしてほしい。
- ・市内の障害者の就労施設をもっと充実させてほしい。最低賃金も保証してほしい。
- ・所沢カルチャーパークは多額の予算をかけているので、しっかり運用してほしい。
- ・第6次所沢市総合計画の評価検証をしっかりと行ってほしい。
- ・議会の慣例でやっていることに対し、新人議員として疑問を持ち、変えなければいけないものは変えていってほしい。

広聴広報委員会



《報告書》

行政視察

11月15日▶11月16日

委員長のひとこと



宮城県仙台市議会

テーマ「子ども議会(議会体験プログラム)」

仙台市議会は、子ども議会を始めてから20年ほど経ちますが、子ども議会に参加し、市議会議員や行政職員になった方がおそらくいると思います。その追跡調査を行うことは難しいと思いますが、何かしらの形で子ども議会に参加した児童生徒のその後が分かるような仕組みづくりができれば、より素晴らしいものになると感じました。



山形県山形市議会

テーマ

- 「議会報の取組」
- 「視覚障がい者向け議会報ダイジェスト版」
- 「議場を活用した議会報告会・議場演奏会」

山形市議会の市議会報「みちるべ」は、中核市議会議長会議会報コンクールで最優秀賞を受賞しており、今後市議会だよりを作成する上で大変参考になりました。



建設環境常任委員会



《報告書》

行政視察

10月25日▶10月26日

委員長のひとこと



山形県長井市

テーマ「中心市街地活性化」

所沢市でも市街地特性や災害リスクなどを考慮し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の街づくりに向けた取組をしようとしています。そのような中で、第2期長井市中心市街地活性化基本計画「時代・エリア・人をつなぐ」をテーマに、長井駅舎と本庁舎を一体化して市民の利便性を図っており、さらに子育て支援と図書館機能を持つ複合施設など、大変参考になりました。



ジークライト株式会社
(山形県米沢市)

テーマ「エコポート最終処分場」

現地を実際に視察することにより、所沢市のごみが適正に処理されていることを確認できたのはとても重要で、市民からの問い合わせにもしっかり回答できていることを確認できました。今後、所沢市でも第2一般廃棄物最終処分場が稼働することになるわけですが、委員会としてもしっかり注視していきます。



健康福祉常任委員会



《報告書》

行政視察

10月25日▶10月27日

委員長のひとこと



埼玉県戸田市

テーマ「子育て短期支援事業」

ショートステイ事業とトワイライトステイ事業の視察を通して、保育環境を充実する施策や、土曜・日曜、祝日での対応、人員確保への課題などを学ぶことができました。



福島県福島市

テーマ「特色ある幼児教育・保育プロジェクト」

子どもたちの創造性や感性を育む「特色ある幼児教育・保育プロジェクト」の視察を通して、多方面・多分野に渡る私立の幼稚園・保育施設の取組とPR支援を学ぶことができました。



岩手県盛岡市

テーマ「保育士確保対策事業、子育て短期支援事業」

保護者が働き続ける環境を実現するには、保育と労働を調和させる支援と不足する保育士の確保が重要だと考えます。保育士確保対策事業の取組の成果と課題を調査することができ、所沢市で課題の一つとなっている待遇のよい地域への保育人材流出が、盛岡市でも課題となっていることも分かり、大変参考になりました。



総務経済常任委員会

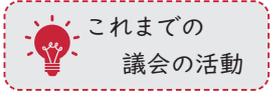


《会議録》

委員会審査

11月7日

投票率の向上に関する提言を踏まえた選挙について



投票率の向上に関する提言(平成29年2月14日)

- 1、投票率の向上に向けて、より利便性の高い鉄道駅構内、ワルツ所沢ビル等の商業施設、早稲田大学等の大学構内及びまちづくりセンター等、市内の最低4か所に期日前投票所の設置を検討するとともに、共通投票所の新設を検討すること。なお、次期選挙に向けては、市役所と合わせて最低2か所の期日前投票所を確保すること。
- 2、選挙権年齢が18歳に引き下げられ、主権者教育の必要性がより求められている。今後は、教育委員会等と連携し、出前講座や模擬選挙等、小・中・高校生に対する選挙や政治への関心を高めるための取組を一層強化すること。
- 3、官学連携に関する基本協定を活用し、投票立会人に学生を選任するなど、若年層が投票所の運営に携わりやすい仕組みを検討すること。



提言に、小・中・高校生に対する選挙や政治への関心を高めるための取組を一層強化することとあるが、若年層に向けて取り組んだ施策について、どのように評価しているのか。



高校等での出前講座や模擬投票のほか、若年層の方に投票立会人をお願いするなど、体験型・参加型の取組を行っています。また、高校生による防災無線での投票の呼びかけを行いました。高校入学前に模擬投票を経験したことがきっかけで参加された方もいるため、取組の一定の効果があるものと考えています。こうした取組を通じて選挙や政治への関心を高められるよう、今後もしっかりと続けていきます。



市民文教常任委員会

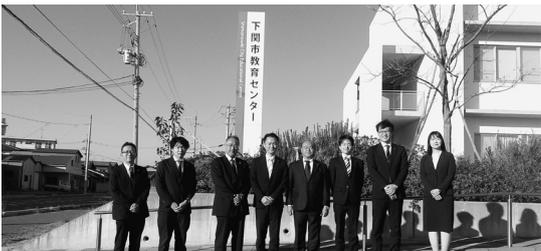


《報告書》

行政視察

11月20日▶11月22日

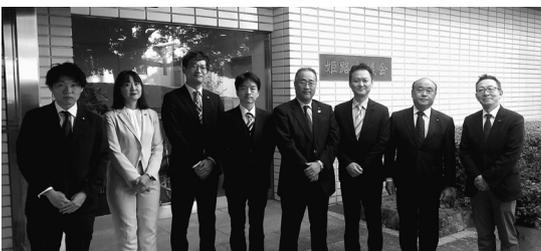
委員長のひとこと



山口県下関市

テーマ「下関市教育センター」

所沢市のコミュニティスクール推進事業は、令和5年度から4校を選定して開始し、令和7年度に全ての学区に設置を終えるものとしています。教育委員会が新たな取組がスタートしたところであり、下関市が先進的に取り組むコミュニティスクールの実態を学び、今後の設置に際し、委員会としてとても参考になるものでした。



兵庫県姫路市

テーマ「義務教育学校」

中1ギャップが原因で不登校になる子どもがいると考えられる中、義務教育学校は小中一貫としての教育のため、この課題解決につながります。さらに、姫路市が取り組む教育は、所沢市でも必要とされる児童生徒の自尊心の向上につながることが学べました。今、所沢市が抱えるこれらの課題解決に役立つものでした。



兵庫県芦屋市

テーマ「インクルーシブ教育」

現在、所沢市では、市内小中学校で特別支援学級の拡大に取り組む中で、障がいの有無に関係なく、共存して教育を受ける環境をさらに構築する必要があります。芦屋市教育委員会では、就学前の子ども教育にインクルーシブ教育を取り入れており、委員会としてインクルーシブ教育の推進を図る上で、新たな観点で考えることができる内容でした。

INTERVIEW No.33

ジェイズ ガーデン JAY'S GARDEN



《公式 HP》

2008年 所沢市で結成。

メンバーは、所沢市出身の山田 裕介さん、兵庫県出身のおおたにあつしさん、大谷 篤志さん、北海道出身の櫻田 範穂さんと世良 太一さんの4人。

2013年 「頑張っていこうぜ」でメジャーデビュー。

2015年 所沢市観光大使に就任。所沢市イメージマスコット「トコロん」のテーマソング「toko toko トコロん!!」を歌っている。



左から 大谷篤志さん・山田裕介さん
世良太一さん・櫻田範穂さん

■結成の経緯は

元々は別々のユニットでプロペ通りで歌っていましたが、ところざわまつりや旬の市、タワーまつりなどの市内のイベントと一緒にライブをするうちに意気投合しました。みんなで集まっていた航空公園近くのレストラン「JAY'S GARDEN」が閉店したことをきっかけに、店の名前を引継ぎグループ名にして結成しました。

■所沢の魅力は

都心からのアクセスがよく、市街地から少し離れば緑もあります。ほどよく田舎で自然がたっぷりあって、ところざわサクラタウンのような、市外の方でもすぐ分かるランドマークがあるのも所沢の魅力だと思います。また、地方から出てきてプロペ通りで歌っていた僕たちを色々なイベントに出演させてくれるところに、人の温かさを感じました。僕たちを快く観光大使に任命していただき、所沢は度量が広いなと思います。

■観光大使としての活動は

夏休みに市内の全ての児童館で親子向けのライブを行いました。あえてステージをつくらずに(笑)

■今後の目標は

子どもたちと同じ目線で歌いました。子どもたちが大きくなったときに僕たちのことを覚えていて、音楽って楽しいなと思ってもらえたらうれしいです。また、各地のゆるキャラと共演するときは、必ず「toko toko トコロん!!」を歌っています。所沢でのライブにも各地からファンの方が来てくれるので、人を呼ぶツールとして僕たちの音楽を使ってもらいたいです。

■今後の目標は

ライブハウスとライブもできるレストランを経営しています。コロナの影響で閉店したライブハウスも多いので、お客さんの前にアーティストが立って喜んでもらえる居場所を市内に一つでも多くつくりたいです。



令和5年12月定例会の開会に先立ち開催した議場コンサートに出演

議員たちの…

冬

寒い日々が続きますが、議員は厚手のセーターと熱いディスプレイで暖をとっています。市民のアイデアで街を更に暖かくしましょう!(長谷川)

寒い冬の朝も、時間を見つけてジョギングをして体力づくり、健康づくりを心がけています。みなさまもどうぞご自愛を!(大久保)

コロナの影響で地域の皆さんとの会話の機会も奪われました。この冬は再開された忘年会・新年会などを通じ、皆さんの声を大事に聴いています。(松本)

広聴広報委員会

◎秋田 孝 松本 明信

○石本 亮三 前田 浩昭

中井めぐみ 谷口 雅典

花岡 健太 亀山 恭子

長谷川礼奈 中 毅志

大久保竜一 石原 昂

◎…委員長 ○…副委員長

所沢市議会 検索

次の定例会は2月20日(火曜)から開催予定です。

ところざわ市議会だよりは2月、5月、8月、11月の15日に発行。戸別配布でお届けしています。配布のお問い合わせは、所沢市シルバー人材センター ☎04-2928-8695 FAX04-2924-0630まで。